

山梨大学「VUCA時代対応型博士人材育成プロジェクト」



地域の中核
世界の人材

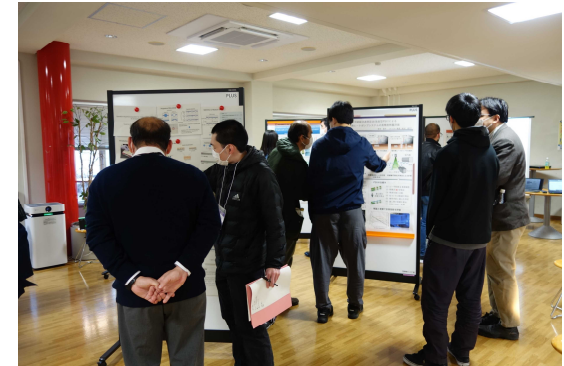
おもろい自分
おもろい大学
おもろい地域

殻をやぶり
壁をこえる

世界を包むVUCAの時代に対応すべく、意欲的に新たな価値創造に挑戦できる博士人材を育成する。オープンな環境において“互いに教え、互いに学ぶ”活力ある博士課程の雰囲気醸成し、独立して研究が行える能力の確保に加えて、自由に分野や業種を越境できる勇気と実行力を身に着けた学生の育成を目指す。そのために、研究力及び処遇の向上と多様なキャリアパスを支援する。



	ステージ	知覚(文法学)		思考(論理学)		表現(修辞学)		協働
学士	自覚・探索	収集	内省	論理的	模倣	口述 平易化		受信・発信 共感
修士	連携・発想	情報 整理 抽出	自立 ストレス 共生 失敗と回復	思考 構造的	発想 飛躍	表現 文章 主張		対話 包摂(真摯の受容) 相互依存の自覚
博士	独創・共創	援用 再編 抽象化	動機付け 計画 判断	批判的	革新	演出 説得力		当事者意識 介入(依頼、巻込、 批判、支援) 民主的合意形成
		対課題		対自己		対人		



1on1から複数教員の指導へ

リベラルアーツ強化によるトランスファラブルスキル(TS)の向上

研究室・分野・学年・職位の越境交流会



学内外メンターとの面談



TS研修の事前WS, ベンチャー企業交流, 中学生交流



英語論文(個別), 統計, 申請書の技術補助

- 「研究活動」とのこれからの付き合い方
- 「研究」と「アイデンティティ」を同一視しない
 - 自分は「研究者」であるが、それだけではない、ということ
 - 同一視すると、「研究をやめる」=「アイデンティティの死」になり得る
 - アイデンティティを守るために、意図的に研究を続けることになってしまふ
 - 自身のキャリアで何かをなすための一手段としての研究を通して、何がしたいですか？
 - 世界平和？ 好きな人の死？ 動物の死？ 環境問題？
 - 研究以外、アカデミア以外での活動がなせることとは？